

2018年を平和な年に

だから憲法9条

2018年は平和な年に！多くの方々の願いです。

戦後、日本は「2度と戦争しない」という道を選びました。憲法9条は、対話による紛争解決の道を示し、「戦力をもたない」と決めました。その徹底した平和主義は、世界の宝です。

ところが、安倍首相は憲法9条を壊そうとしています。平和を守り、9条を子や孫たちの未来につなぐために、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」（3000万人署名）を集めています。「戦争はイヤ」というあなたの思いをお寄せください。



9条に「自衛隊」を書き込めば、 どうなるの？



安倍首相(自民党総裁)の改憲案は、「9条に『自衛隊』を書き加える」というものです。どうなるでしょうか。「後からつくった法律は、前の法律に優先する」ことが法律の一般原則です。

「自衛隊」を明記した条項が後からできれば、「戦力をもたない」と決めた9条2項は空文化されます。海外の武力行使を制限していた9条2項の歯止めがなくなり「戦争する国」にまっしぐら。軍事費はどんどん増やされ、福祉や教育は削られ、産業も研究・教育も軍事優先、人権の制限も…。そんな9条破壊は許されません。

武力で平和はつukれない、 北朝鮮問題は対話で解決

「北朝鮮の核・ミサイル開発」、本当に許されません。朝鮮半島で戦争を起こさないために、どうすればよいでしょうか。武力の行使は、報復攻撃による甚大な被害を生み、核戦争の危機に発展するおそれすらあります。国連事務総長も「いかなる軍事行動も壊滅的結果を招く」として、対話をつよく呼びかけています。「対話は意味がない」と軍事的圧力強化を認める安倍首相の対応は、世界から孤立し、事態を深刻化するものです。対話による平和外交こそ解決の道です。



9条を生かすことが日本を守る道です。

憲法改悪ストツブ

3000万人署名にご協力を

国民は改憲を望んでいません



9条改憲「不要」過半数
国会論議「急がず」67%

《憲法世論調査》

安倍首相は4日、年頭の記者会見で今年の通常国会に自民党改憲案を提出する意思を示しました。しかし、世論調査の結果からも国民は改憲を望んでいません。

しかし、国民は改憲を望んでいません。

安倍改憲、国民は反対

安倍首相は昨年5月3日、自衛隊明記の9条改憲案とともに「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」と改憲の目標時期を明言。それを受け、自民党憲法改正推進本部では、改憲案の議論をすすめてきましたが、首相の記者会見

日本世論調査会が、昨年12月に行った世論調査によると、戦争放棄や戦力不保持を定めた憲法9条改憲について「必要

ない」が53%、

市民の権利の制限が目的

安倍首相がすすめる改憲の国会議論には、67%が「急ぐ必要はない」と答えたと報道されています。

憲法は、権力者の横暴から市民が幸せに生きる権利を守るために権力者を縛るものです。今回の改憲は、憲法で縛られている権力者の側から提案されたもので、その縛りを緩め、市民の権利を制限する改憲は、認めるわけにはいきません。

世論調査の主な結果

憲法問題への関心	関心がある	25.8%
	ある程度関心がある	46.2%
	あまり関心がない	20.1%
	関心がない	7.1%
安倍首相の下での憲法改正	賛成	39.2%
	反対	53.1%
改憲の国会論議	急ぐべきだ	28.8%
	急ぐ必要はない	67.2%

※日本世論調査会調べ、合計は100%にならない

9条の改正について

